



アドベンチャービンゴ

梵珠少年自然の家

1 活動のねらい

- ・グループで協力しながら活動することで、仲間意識を高めることができます。
- ・自然に親しみながら、課題を解決する楽しさを味わうことができます。
- ・困難なことを克服する喜びやその達成感を味わうことができます。

【教科への対応】 小学校：体育など 中学校：保健体育など

2 活動の概要

起伏にとむ森林コースをサインに従って歩き、13の閑門を回りながらビンゴゲームを楽しむ活動です。

- (1) 人数 160人以内
(2) 対象 小学校5年生～中学生・高校生
(3) 期間 4月下旬～11月上旬
(4) 時間 3時間（説明30分＋活動150分）
(5) 場所 自然の家活動エリア
(6) 経費 無料
(7) 指導 実施方法等について、自然の家職員が説明（直接または間接指導）を行う。



＜つなわたりの様子＞

3 準備物

団体	救急薬品
個人	汗ふきタオル、帽子、軍手、運動しやすい服装
自然の家	鉛筆、カードホルダー、ビブス、指令書、用具一式（輪投げの輪・弓・矢・宝券） スズメバチ用殺虫剤、無線機（8台）

4 引率者の役割分担

役割名	内 容
代表責任者	1名。責任者として自然の家に残り、全体の総括、指揮、連絡にあたる。
スタート・ゴール	1～2名。玄関前SG場から時差式でスタートさせる。ゴールの確認後、採点・集計を行う。
各閑門担当者	数名。各閑門の用具の設置・回収とともに、安全管理と活動の補助を行う。
パトロール	数名。コースを巡回し、安全と事故防止に努め、緊急時に対応する。

5 活動の流れ

内 容	
説 明	<ul style="list-style-type: none"> ルール、安全管理、服装（長袖・長ズボン・帽子・軍手）について説明 スタート順とゴール後の待機場所について確認 鉛筆、カードホルダー、ビブス、指令書の貸出、配付 「指令書」の裏面bingo表に、1～50の数字を書き入れる。 <p>※閑門担当者はこの間に所定の閑門へ移動し、用具等の準備をする。</p>
準 備	<ul style="list-style-type: none"> 3～5分間隔の時間差でスタート（パトロール係は巡回指導） <p>※班数が多い場合：前後半同時スタートも可能（前半：①～⑤ 後半：⑥～⑯）</p> 各閑門を回り、指令書にある以下の課題に挑戦する。 <ul style="list-style-type: none"> 閑門②・④・⑤・⑥・⑫・⑬…bingo数字を合わせよう。 閑門①…『ムカデげた』に挑戦しよう。 閑門③…『ジャンボ輪投げ』に挑戦しよう。 閑門⑦…「1本橋コース」「よしつね坂コース」のどちらかに分かれ進もう。 閑門⑧…班員が全員そろったら進もう。 閑門⑨…『つなわたり』に挑戦しよう。 閑門⑩…『宝券』をさがしたら『シューティング』に挑戦しよう。 閑門⑪…「第〇班、ヤッホー」と自然の家に向かってさけばう。 全13閑門をクリアしたらゴール 全員のゴールを確認する。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 指令書の回収、採点、集計、順位の発表 bingoの得点がグループの得点となる。 <ul style="list-style-type: none"> ○数字得点（10点）……ポイントにあるbingo数字とbingo表の数字で同じものがあれば○印をつける。 ○ライン得点（30点）…○印が縦、横、斜めに一列に並んだとき。 ※「FREE」も10点に数える。 ふりかえりと借用物品の返却（無線機は事務室へ返却）

6 実施上の留意点

- ・当日、自然の家職員と引率者全員で、事前確認を行う。（ルール、担当者の役割など）
 - ・参加者の健康状態を把握する。

7 安全に実施するためのポイント

- ・急斜面をロープで登り降りするので、軍手を必ず着用させる。
 - ・熱中症対策のため、十分な水分補給をさせる。（途中の休憩必須）
 - ・危険な動植物（ヘビ・ハチ・ウルシ）への対処方法について確認する。
 - ・待機場所には必ず引率者が常駐し、安全管理を行う。

8 エリア地図

